

1. 地域情報

圏域	(主な町名) 卸町 1 丁目～3 丁目、卸町 5 丁目、志波町、中倉 3 丁目、大和町 2 丁目～5 丁目、遠見塚 3 丁目 (13 番 15 号、22 号、24 号、30～32 号、15 番)、中倉 1 丁目～2 丁目 (1 丁目は 13、14、24、25、27 番、2 丁目は 1～8 番、9 番 14 号、17 号、18 号、20 号、22 号、23 号、12 番、15～25 番)				
	(連合町内会) 大和地区連合町内会 (学区) 大和小学校、蒲町中学校 (地域包括支援センター) 大和蒲町地域包括支援センター				
人口※1	12,499 人	高齢者数 ※1	2,726 人	高齢化率※1	21.81%
世帯数※1	7,118 世帯	未就学児数※1	512 人		
地区の概況	卸町地域は倉庫や産業ビルなどが立ち並んでおり、六丁目地域 (七郷地区)、宮城野区の扇町・日の出町地域と併せて仙台圏の流通・工業の拠点であり、高密度な産業地帯を形成している。その南部の大和町、中倉地域は戸建の多い住宅地であるが、周辺の会社への勤務者も多く、マンション建設が進んでいる。戦後、住宅地として開発された地域であり、比較的均質な街になっている。地下鉄東西線卸町駅周辺は、大型店舗が進出し、大規模マンションが建設されていく。				
地域資源 (関係団体、施設、連絡会等)	単位町内会	柳橋町内会、大和町五丁目町内会、中倉共栄会、大和中倉町内会、尼坪親和町内会、尼寺東町内会、ダイアパレス大和通り町内会、大和ステイツ町内会、卸町ふれあい町内会、大和町町内会、ネオハイツ中倉自治会			
	地域活動団体 (町内会除く)	大和地区民生委員児童委員協議会、大和地区共同募金会、大和地区赤十字奉仕団、大和地区児童福祉協議会、体育振興会 (大和小)、宮城の萩大通り振興会			
	NPO ボランティア団体	日本調整療法協会、ほっとたいむ、みやぎ災害救援ボランティアセンター、あんしんどう福祉会、仙台夜まわりグループ			
	高齢者関係施設等	大和蒲町地域包括支援センター、仙台中倉デイサービス、デイサービスセンター大和、なでしこの館、シルバーホームしずか苑、なでしこの館 2 号館、なでしこの館 3 号館			
	障がい者関係施設等	わ・は・わ若林、のぞみ苑、ゆめ工房いいね仙台、ほっとたいむ、なでしこ			
	子供関係施設等	卸町光の子保育園、やまとまちあから保育園、やまと幼稚園、大和児童館カール大和町ナーサリー、ビックママランド卸町園			
	教育機関	大和小学校			
	市民利用施設	大和コミュニティ・センター (老人憩の家、コミュニティ防災センター併設)			
	その他	仙台大和町イオンスタイル仙台卸町郵便局、杉山内科消化器科、仙台やまと町脳外科クリニック、はやし内科クリニック、東北医科薬科大学若林病院、大和町メディカルセンター、みやぎ健診プラザ、卸町交番			

※1 令和6年4月1日現在の「仙台市町名別年齢(各歳)別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域(街区符号・住居番号)による累計ではありません。

2. 地区社協の体制

結成年月日	昭和・平成 52 年 4 月 24 日			
社協会員数	2,896 名（普通会員数 2,896 名、特別賛助会員数 0 名）※令和 5 年度実績			
会 長	氏 名	田 邊 き ん	就任年月日	平成 29 年 5 月
	兼務の状況	大和中倉町内会会長		
組織体制	（役員体制）会長 1 名、副会長 2 名、理事会計（町内会長）、理事 7 名（町内会長）、幹事 2 名、評議員（福祉委員を充てる）、地域福祉活動推進員 1 名 （活 動 者） 18 名 （活動者呼称）福祉委員			
主な活動拠点	有→	（名 称）		
	無→	（主な活動場所）大和コミュニティセンター		

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要	民生委員と福祉委員が協力し、サロン活動、見守り活動を推進している。		
会議・研修	福祉委員会議（年1回） 移動研修会（年1回）		
活動の概要 （令和5年度実績）	安否確認活動	生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯（実数） 334世帯	実施対象世帯（実数）※2 286世帯	実施回数 0回
	（内訳）	（内訳）	延べ参加数 0人
	一人暮らし高齢者世帯 184世帯	一人暮らし高齢者世帯 143世帯	（対象） ☐ 高齢者 ☐ 障害者 ☐ 子育て中の親（子） ☐ 子ども ☐ その他 ※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照
	日中独居高齢者世帯 0世帯	日中独居高齢者世帯 0世帯	
	高齢夫婦世帯 0世帯	高齢夫婦世帯 0世帯	
	その他の高齢者がいる世帯 0世帯	その他の高齢者がいる世帯 0世帯	
	障がい者のいる世帯 0世帯	障がい者のいる世帯 0世帯	
	子供のいる世帯 0世帯	子供のいる世帯 0世帯	
	その他の世帯 150世帯	その他の世帯 143世帯	
	実施回数（延べ） 1,268回	実施回数（延べ） 1,280回	
	主な支援内容 〔訪問〕	主な支援内容 〔秋春の全国火災予防・防災・防火及び コロナ感染予防等告知、話し相手〕	

※2 生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期（10月～3月）における実績。

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称	社協だより	発行頻度	年1回
	発行部数・配布方法等	3,050部（各町内会及び関係団体）		
	その他の広報	防災ティッシュ配布		

5. その他の活動

活動・取組 みの概要	
---------------	--

6. 地区社協活動の特徴

町内会及び民生委員との連携がとれており、協力して活動を進めている。 東日本大震災以後は被災者支援活動にも力を入れており、復興公営住宅への支援を検討するために「大和地区社協 復興住宅支援会議」を平成27年7月16日に立ち上げ、平成30年度より「大和地区社協、市営住宅連絡会議」と改め、偶数月に開催して連絡を取り合う事とした。令和3年度より市営住宅の希望もあり、各町内会の中で活動することになり、大和地区社協としてもそれに対し支援を行うことになった。
--